

ネオマフォームUF・DH仮固定用専用プラスチック釘

ネオマ[®]キーパー

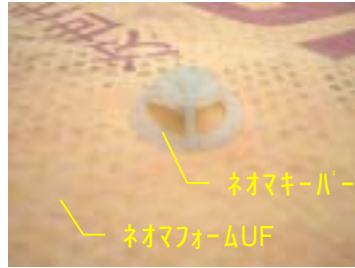


ネオマフォームUFの仮固定には必ずネオマキーパーをご使用下さい。

ネオマキーパーは、ネオマフォームUF・ネオマフォームDHのコンクリート型枠への仮固定用として旭化成建材が開発した専用プラスチック釘です。

ネオマキーパーはアンカー構造を持ったプラスチック釘で、アンカー部に躯体コンクリートがしっかりと入り込むことで脱型時の躯体からの脱落を防止します。

型枠設置状況及び脱型後の状況



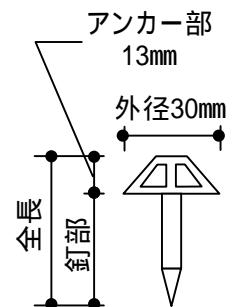
型枠設置状況

型枠脱型後

製品規格及び適用品種一覧

表1 製品規格及び適用厚さ一覧

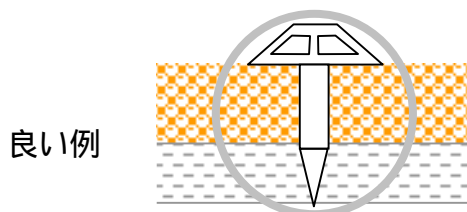
品種	全長 (mm)	釘部の長さ (mm)	ネオマフォームの適用厚さ(mm)	
			UF	DH
ネオマキーパー1	38	25	13	12
ネオマキーパー2	46	33	22	21
ネオマキーパー3	51	38	26	25
ネオマキーパー4	56	43	31	-



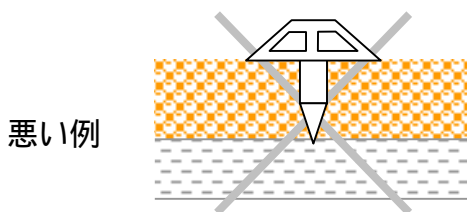
⚠ ネオマキーパーは、ネオマフォームUF・DHの厚さに合ったものをご使用下さい。

短いものを使用すると、釘部が型枠合板に届かず固定出来ません。

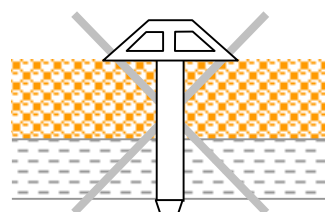
又、長いものを使用すると、釘部が型枠合板に入り込みすぎ、脱型時に型枠に引っ張られてコンクリート躯体から脱落し、パネルを引き剥がす恐れがあります。



ネオマフォーム
UF又はDH
型枠合板



型枠合板に固定されていない



脱型時に型枠合板から
抜けなくなり、躯体から
はずれる恐れがある



躯体からはずれた釘が
面材を剥がした例

施工上の注意点



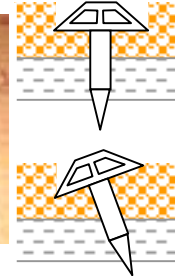
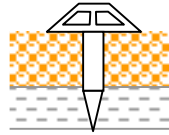
注意

取り扱い - 鋭利な先端部分に注意 -

ネオマキーパーは釘状の先端部分が鋭利ですので、けが等しないよう取り扱いにご注意下さい。

固定方法 - 打ち込みすぎない -

ネオマキーパーをハンマーにて型枠合板に設置する際、傘状に開いた「アンカー部」がネオマフォームに沈み込まないように施工して下さい。又、強く叩きすぎると釘が折れることがあります。



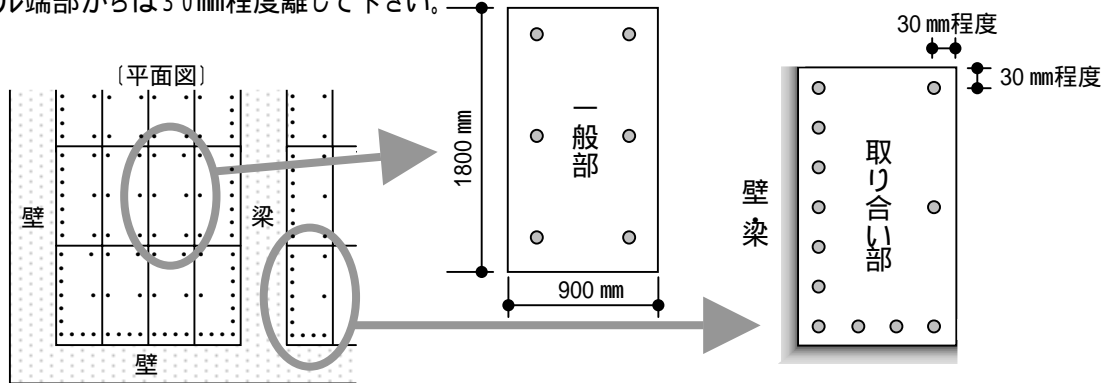
配置 - 固定ピッチに注意 -

スラブ下に施工する場合(ネオマフォームUF)

四周がパネルと接する一般部は、1枚当たり6本を目安として使用します。

また壁や梁との取り付け部はノロが入りやすいためピッチを狭くして下さい(250~300mmピッチ)。

パネル端部からは30mm程度離して下さい。



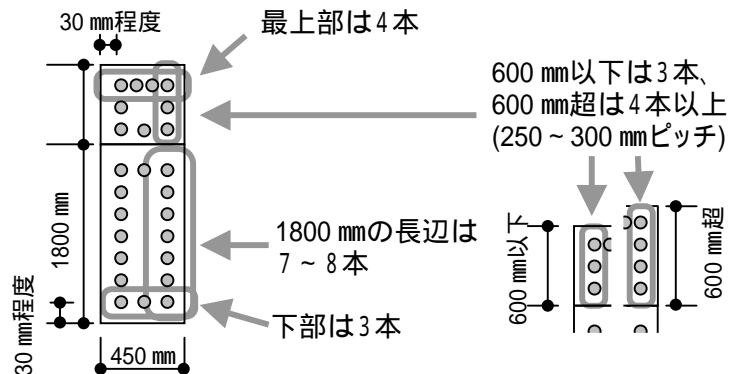
壁に施工する場合(ネオマフォームUF、ネオマフォームDH)

16~20本/枚(450×1800)を目安として使用します。固定ピッチは表2の通りです。

型枠上部はノロが入りやすいため、その他の箇所よりピッチを狭くして下さい。

【表2 固定ピッチの目安】

	固定ピッチ
長手方向	250~300mm
幅方向	(型枠上部)
	150~200mm
	(その他)
	200~250mm



脱型後 - 突出している先端部分は取り除く -

脱型後、ネオマフォーム表面から突出している先端部分はニッパー等で切り取って下さい。

このパンフレットは、「ネオマキーパーパンフレット」(2007年6月製作・印刷)です。記載内容の仕様、物性、品質等については、予告なく変更させていただくことがあります。ご使用にあたっては、関連法規、「ネオマフォームDH・ネオマフォームUFパンフレット」及び当社が提供する技術資料に従って適切に使用してください。このパンフレットは、印刷のため実際の色柄とは多少異なる場合がございます。このパンフレットの内容についてのお問い合わせは、当社に直接お尋ねください。

AsahiKASEI

旭化成建材株式会社

東京都港区東新橋2-12-7

住友東新橋ビル2号館

Tel: 03-5473-5249